



週報

入間ロータリークラブ

2023-2024 RI 会長:ゴードン R. マッキンナリー RI2570 地区ガバナー高丹秀篤 会長:木下登 幹事:間野尚

3号 3292回例会 2023年 7月 20日(木)

🌻 バッチ交換 🌻



豊田義継直前会長から木下登会長へ

🌸 会長の時間 🌸

木下登会長

ロータリーの友6月号に掲載があった記事を皆様も読んでいると思いますが、国際ロータリー第2700地区で地区大会記念講演要旨として掲載されましたお話をさせていただきます。
 (株)安川オートドライブ特別顧問 津田純嗣氏の講演(安川電機第九代社長)です。



入間市も大いに関係ありまして、上藤沢に(株)安川電機があり、何年か前に職業奉仕委員長の岩崎茂さんが、クラブの企業見学として行った事を覚えています。私も技術屋ですので、非常に興味があり何回も読み返しました。更に要点をお話します。

日本の製造業としては、昨今、世界で一番大きい産出高を誇っているのは中国です。2番目がアメリカ、3番目が日本。「世界の工場」と呼ばれている中国は日本の3倍の産出高です。安川電機の事業の中身は、制御機器の製造です。1896年に「三相モーター」がアメリカで開発・発売されました。このモーターが実用化され第二次産業革命がはじまりました。創業者の安川敬一郎氏は日清戦争・日露戦争で軍需景気が発

生し、「産業を興して国の恩恵に報いる」という言葉も出しながら、会社を成長させ、さらなる事業展開に挑戦しました。

次に、技術者を養成する学校を作ることになりました。今の九州工業大学です。モーターで機械が駆動する時代の黎明期です。まさに、安川電機の方向性を「電動機とその応用」の事業とする「モーターの安川」と評されるようになりました。

第二次世界大戦後、日本の民間企業は大打撃を受けました。しかし、戦後の日本経済は、高度成長期を迎えます。日本は世界に冠たる製鉄産業国家になりました。その技術は、間違いなく世界の最先端でございました。設備投資が、大技術開発が、毎年のように行われました。鉄鋼の生産量の伸びと、技術開発のスピードがほぼ一緒ですから、日本は、素晴らしい経済成長の時代でした。

1970年くらいから「アナログからデジタルへ」が謳われていました。鉄だけでなく、日本中であらゆる生産分野でオートメーション化が脚光を浴びてまいりました。ここで日本は、世界の経済大国になったわけです。現在では、世界に製造業自動車生産台数世界一 中国 世界の1/3生産です。ロボット設置台数世界一 中国 世界の1/3設置です。

日本は中国の設置台数の1/4です。中国では、自動車から始まって次に半導体、スマートフォン製造とロボットの設置が広がっています。

中国のロボットですが、ほぼ日本製かドイツ製で日本のメーカーのシェアは、ほぼ6割です。半導体では台湾が世界で1位です。韓国が世界で2位です。なぜか日本は世界で3位です。工作機械では日本は世界で1位を占めています。今後は人働ロボットが必要となります。人とロボットが一緒に働く形を進めていくことです。なぜ、ロボットだけではだめなのか、人の手のひらには、1万個以上のセンサーがついていま

す。熱さ、痛さ、温度、重さ、等々厚みは、1ミリメートルだって感じる。これを全部一つのロボットで人間のように表現しようとしたら、とんでもないことになります。ロボットには、溶接をしたり、塗装をしたり、モノを運んだり、人の行けない危ない処にも行けたり、多機能化が進み柔軟な作業が出来ます。皆様の記憶にあるところでは、福島の前橋の現調にロボットが使われました。最終的には、自律型、自分で動くロボットが目標点となります。

今後の日本が、本当に必要なものとは、日本はいわゆる技術屋さんが少ない。特に、デジタル系の人材が少ないです。このままだと今後日本は、大問題になると思うのです。

人を育てるということ、時代に合った人を育てるということ、いつの時代も、いかに大切なことか、何とかして実現したいと思っています。以上が津田純嗣様の講演内容の要点をまとめました。

実は、私共の会社も、技術者が非常に不足しております。これからも引き続き、この大きな問題に取り組んでいくことになります。

<幹事報告>

間野尚幹事

1. 8/3 ガバナー補佐訪問の前に
理事会 16:30～例会 18:00～
2. 8/31 ガバナー公式訪問の集合時間は準備の都合上 10:30
となります。



3. 9/8 第2回会長幹事会「魚いち」にて
開催 木下会長、間野幹事で出席。

●委員長報告

[親睦活動委員会]

細田浩司委員長

本日6時からナポリのかまどで、新旧役員慰労激励会等に関する家族集会を開催いたします。関係者のご出席宜しくお願い致します。

[職業奉仕委員会]

一柳達朗委員長

親睦活動委員会と合同で家庭集会を、本日開催いたします。9月14日の国会の職場訪問に関するお話が出来れば良いかと思っています。

[ロータリー財団委員会]

関谷永久委員長

7月18日やまきにて財団の家庭集会を開きました。何年かぶりの家庭集会で話に花が咲きました。会長も話されています様に、ほかの委員会もぜひ家庭集会を開いてほしいと思いました。

●各小委員長年度計画発表●

■職業分類委員会

滝沢文夫委員

現存の職種に見合う職業分類表を見直し作成し、いかなる職業の新入会員に対しても適応出来るようにする。活動計画として職業分類表の項目を見直し。又、未充填の職業分類項目を会員に情報提供し、増強委員会と協力して活動して参ります。



■会員選考委員会

友野政彦一委員長

年度計画書に書かれています調査・審査し結果を理事会に報告する事となっておりますが、杓子定規にならず、柔軟な方向で適切に対応いたします。増強がなければクラブは消滅します。その思いで遣らせて頂きます。



■会員増強委員会

菅野茂実委員

伝統ある入間ロータリークラブ会員の更なる増強を行うことでクラブの歴史・伝統を継承しクラブの発展をさせる。



活動計画として入間クラブの歴史や伝統を学ぶ勉強会を開催する。職業分類表を元に未充填の職業分類を充填するための対象者を理事会に推薦する。今年は5人程の入会を目標にしていますのでご協力よろしくお願いいたします。

■ロータリー情報委員会

豊田義継委員

ロータリーへの理解を深め有意義なロータリーライフを送って頂くことに貢献出来る様、ロータリーに関する知識や情報の勉強会を今年は多く開催したいと考えています。活動計画として入会3年未満の会員を中心に勉強会と親睦会を兼ねた研修会を企画する。地区等からの最新の情報を会員に周知する。一年間宜しくお願い致します。



■出席向上委員会 駒形一人委員

会員の皆様がクラブの例会や各種ロータリーの行事に出席することを奨励し、出席率の向上を目指して努力して参ります。

活動計画として出席への声掛け運動を積極的に推進します。出席状況を正確に記録して出席率の把握に努めます。例会において、出席人数と出席率の報告を実施します。



■会報・雑誌動委員会 繁田光委員長

会報は、例会開催ごとの刊行を基本とし、例会やクラブの活動状況を会員にわかり易く伝え、ロータリー活動を活性化させる。雑誌は、会員が「ロータリーの友」を熟読してもらえよう努力し、それによりロータリーの知識を得るようにする。

活動計画として会報は、例会やクラブ活動の内容を正確に伝えられるように作成し、卓話者等には、内容を電子データでの提出を依頼する。雑誌は、例会時の委員長報告に時間を使い、「ロータリーの友」の記事を紹介する。



■親睦活動委員会 細田浩司委員長

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が「5類」に引き下げられたこともあり、親睦活動を活発に行っていきます。会員とその家族がロータリーの意義を理解できる行事を開催する。会員相互のコミュニケーションを図り、みんなが楽しいと実感できる活動を行います。

活動計画として、最初に新旧役員慰労会。そして今年は親睦旅行を是非とも開催したいと考えています。例年通りロータリー美術館と連携しての例会。入間南ロータリークラブとの合同例会。入間万燈まつり反省会。クリスマス例会。新年会。特に家庭集会を開いて大勢の方が参加して親睦を図れたらと思っています。よろしくお願いいたします。



■プログラム委員会 吉岡信人委員長

今年度の会長のテーマである「希望と友情を深めよう」に従い、各会員が例会を通じて多くの情報や知識を習得することが出来るよう有意義な例会プログラムを提案します。

活動計画として魅力があり楽しむことが出来る例会を目指す。各月間のテーマに準じた講師を招いて卓話をしていただくと共に会員の卓話も考えています。ご協力お願いいたします。会員間の親睦が図れるよう、親睦旅行や日帰り美術館等を他の委員会と協力して行います。



■広報委員会 菅野茂実委員長

情報発信等のツールを用いて地域社会との交流を深めロータリークラブの存在を理解してもらい、活動内容を広く知っていただく。クラブ内の友情を深め情報を発信していく。広報の前進を生み出し、希望を生み出す。活動計画は情報発信を活用し、活動内容を幅広く知っていただく。他委員会活動を地域社会に発信する。入間ケーブルは大変、入間ロータリーに協力的ですので、活動内容を密に連絡していきたくと思っています。



■ロータリー美術館 後藤健委員長

1975年創設以来続いている歴史と伝統のある「ロータリー美術館」をガバナー公式訪問・年初め例会で開催し、日帰り美術館を都内はじめ近郊美術館を巡り知識・教養・親睦を深め交流の輪を広げることを目標に活動を行います。

活動計画としては、ガバナー公式訪問、市長年頭所感等でのロータリー美術館の開催を行います。



■健康管理委員会 金井祐一委員長

会員及び会員家族に対し、健康な生活を送れるよう情報の提供と予防活動を行う。医療従事者による卓話の実施。今年もインフルエンザの予防接種実施予定です。コロナ感染者も多く、咳止めなどの薬も不足気味です。五類になったといっても健康には気を付けて下さい。



■ロータリー財団委員会関谷永久委員長

財団について会員がより一層理解を深める為、エンドポリオ活動などに積極的に参加して頂きます、並びに要支援者などに社会貢献する意欲の向上を促進します。活動計画として財団奨学生を招いて卓話を、既に23-25年度グローバル補助金奨学生の佐藤哲郎さんには5月に卓話をしていただきました。地区財団担当者に財団補助金の内容の説明と使途などを話して頂きます。クラブ会員一人当たり年間210\$ (三種合計)以上を寄付目標としますので、ご協力よろしく願いいたします。



■米山記念奨学委員会 細淵克則委員

米山記念奨学事業では、日本を学びの場を選んでもらった学生に対し、ロータリーの活動から、日本の文化・習慣を学んでもらい、将来国際的にも多様的にも貢献できる人材の育成を支援する。活動計画は米山記念奨学生には、ロータリー活動への参加を積極的に行ってもらい、将来に役立ててもらえるよう努める。会員には、米山記念奨学会事業活動に理解をしていただき、引き続き寄付をお願いいたします。米山梅吉氏がアメリカに留学した時に苦労された自分の体験からできたのがこの委員会です。最初の理想から今は変化して、支援する国が偏って来て問題になっています。



■ゴルフ部 繁田光部長

今年度より年度計画書に載せていただきました。ゴルフを通じ会員の親睦を深め、さらに、会員の健康増進を図ります。また、入会候補者をゴルフに誘い、会員と共にプレイすることで、ロータリー活動の楽しさを伝え、会員増強につなげる。年間6回程度、ゴルフ同好会の例会を開催する。そのうち2回程度は、入間南RC等、他のロータリークラブとの合同で開催いたします。



今年度の日程日は決まっています。

- ・10/19(入間南RC 合同夜間例会)
- ・11/ 9(入間万燈まつり夜間反省会)
- ・12/21(クリスマス家族夜間例会)
- ・4/23(入間南RC 主催合同夜間例会)
- ・5/23(例会は休会)
- ・6/27(クリスマス夜間例会)

<出席報告>

駒形一人委員

会員数	出席数	出席率	前回修正率
39名	24名	64.0%	-----

事前欠席連絡 4名

<ニコニコBOX> 白幡英悟SAA

- ☀ 小委員長の皆さん宜しくお願い致します。
「木下登君、間野尚君、宮崎正文君
白幡英悟君」
- ☀ 木下登会長バッチの重みを感じさせない活躍を期待しています。
「豊田義継君」
- ☀ 本日は途中退席いたします。
「津藤淳也君」

本日¥6,000 累計¥418,000

■回覧、配布物

- ① フードバンクいるま活動報告
- ② マイロータリーアカウントの作成方法
- ③ 他クラブ例会お知らせ
- ④ 入間クラブ週報1,2号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
 ■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
 ■例会場：丸広百貨店入間店6Fバンケットホール Tel. 04-2963-1111
 ■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：繁田光

